

石岡地区保護団体 会長賞

「一ひとつの行動から」

南小学校 六年 小吹 悠（おぶき ゆう）

「さい」「おはよう」「じゅうじゅう」など、朝の挨拶がどうぞあります。「お世話になります」を相手にきちんと伝えることは、とても大事なことなど改めて思いました。ぼくは、毎日寝起きが悪く、毎日寝起きが悪い、と同時に、他の選手の家に宿泊することは、とてもきん張していました。それと同時に、他の選手を受け入れ、ぼくの家に宿泊することも初めての経験でした。

まずは、ぼくの家に受け入れ、ホームステイをしたことが先でした。ぼくの家なのに、とてもきん張っていましたが、一緒にお風呂に入ったり、食事をしたり、サッカーの話をしているうちに、仲良くなりました。受け入れた子たちには、とても礼を正しく、「よろしくおねがいします」「いただきます」「じゅうじゅうでした」「おやすみなさい」といって、あいさつやべつをします。

この夏、ぼくは、初めてホームステイを経験しました。ぼくはサッカーを習っていて、その遠征で、宿に宿泊することになりましたが、他のチームの選手の家に宿泊することは、とてもきん張していました。それと同時に、他の選手を受け入れ、ぼくの家に宿泊することも初めての経験でした。

あります。ホームステイは、ふだんの日常生活をふり返るきっかけとなりました。また、「とても楽しかったよ」と言ってくれたことが、ぼくはうれしかったです。ぼくは、受け入れた子たちから学んだことを、ホームステイ先で心をこめて伝えることができたと思います。もちろん、宿泊せつに置いても、食事を作ってくださる方や宿の方に対してもお礼の気持ちをこめて、あいさつやべつをします。

ぼくは、今、小学校六年生ですが、何年か後に社会人となつたとき、これらの経験が生かせるようになつたいです。そして、これからたくさん経験

とを思い出しました。そのときもきちんと張っていて、行つて帰つてくるのがせいいっぱいで、気持ちによゆうがありませんでした。あいさつはしていましたが、心がこもっていたのかなどいろいろ返りました。

思いやりのあるあいさつや行動は必ず、相手に伝わります。伝えられた側、相手の立場になつてみて、ぼくは気がつきました。

ぼくは今まで、何も考えずにしていることがあります、毎回^{ここ}には気持ちをこめておこなつていただきたいと思いました。

ぼくは、今、小学校六年生ですが、何年か後に社会人となつたとき、これらの経験が生かせるようになつたいです。そして、これからたくさん経験

をしていきたいと思います。一人ひとりが、社会のルールを守る行動をしていねいにあいさつをすること、初対面の人にもていねいな言葉づかいをするなど、礼ぎを大切にしていくればいいなと思います。

今までのぼくは、物を大切に扱うこと、気持ちの良いあいさつ、言葉づかいや行動は、できていたつもりになっていました。一つひとつのことをしていよいよ、気持ちをこめて行うことでの相手のことを敬い思ひやる気持ちが生まれます。社会のルールを守る行動が明るい社会を創っていくのだとぼくは思います。そしてその気持ちを持ちつづけていくことが大事なことです。ぼくがこの先、大人になって今をふり返ったとき、新たな気づきがあるでしょうか。

